

在宅歯科医療推進支援体制の整備

現状と課題

在宅歯科実施機関

- ・都歯科医師会実施の「かかりつけ歯科医と歯と口の健康づくりに関する調査」によると、在宅歯科医のうち他職種と連携をしている割合は低い。
- ・他職種との連携にあたっては、「連携機関間での患者情報が不足している」、「連携機関間での役割が明確でない」、「在宅歯科自体の知名度不足」などを多くの医療機関が課題として挙げている。

- ・在宅歯科と他職種連携はまだ進んでいない
- ・在宅歯科自体の知名度も不足している

他職種

- ・訪問看護師や介護職員から伝えられる口腔内の状況に関する情報では、歯科医師が必要とする情報が把握できない。
- ・介護側から口腔内に関する相談をしたいが、直ぐに相談できる場所がなく、どこに相談していいのかわからない。

- ・口腔ケアを必要とする患者状況の判断ができない
- ・地域で在宅歯科を実施している医療機関情報が不足

事業目的

歯科医療機関及び介護施設等の職員に対して、歯科にかかる他職種連携のノウハウや意義を伝えるとともに患者・家族や介護を担う人材に対し、歯科介入の意義を普及啓発することで、地域における他職種連携の取組を支援し、在宅療養患者の口腔機能の維持・改善・向上を図る。

事業内容

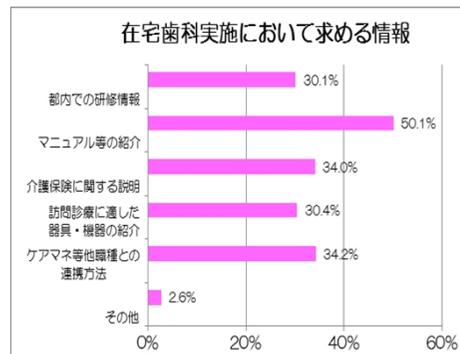
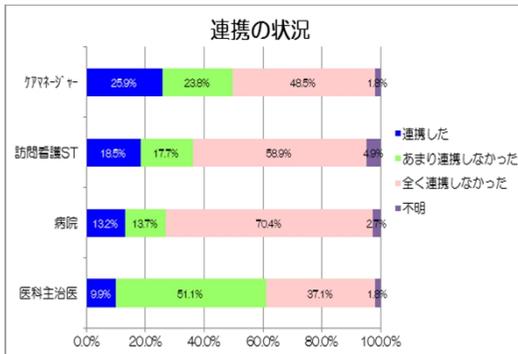
連携マニュアル・チェックシートを用いた普及啓発

- ◆ マニュアルの開発（28年度進捗状況）
 - ・55地区歯科医師会へ在宅歯科医療に係るアンケートを実施（5月）
 - ・アンケートに基づき、事例検証モデル地区の選定、先駆事例紹介地域の選定（6月）
 - ◆ チェックシートの開発（28年度進捗状況）
 - ・チェックシートの方針を検討（6月）
- ⇒⇒⇒ 29年度は、28年度に開発したマニュアル・チェックシートを活用し、地域で普及啓発に取り組み、他職種との連携強化を図っていく。

在宅歯科医療講演会

- ◆ 講演会の実施（28年度進捗状況）
 - ・講演会のコンセプト、演者等の検討（6月）
 - ・演者との日程調整、内容決定（8月）
 - ◆ 研修会を実施（28年度進捗状況）
 - ・研修会のコンセプト、演者等の検討（6月）
 - ・演者との日程調整、内容決定（8月）
- ⇒⇒⇒ 29年度についても、引き続き地域での在宅歯科医療における多職種連携を進めるための講演会、研修会を実施していく。

<参考>



スケジュール

	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
平成28年度	マニュアル・チェックシート開発等にかかる検討会（4回）・モデル検証2圏域			
		●リーフレット作成	●講演会（歯科）	●研修会（コーディネーター）
平成29年度	効果検証にかかる検討会（2回）			
	●マニュアル・チェックシート作成	●研修会（区部・多摩）	●研修会（区部・多摩）	●講演会（都民）

※ 地域医療介護総合確保基金を活用して29年度までの2か年事業として実施